

一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉環境を！SCGJ「どこカル. ネット」プロジェクト

かかりつけ医に関するアンケート（集計結果発表！）

特定非営利活動法人 日本サステイナブル・コミュニティ・センター「どこカル. ネット」プロジェクト（事業統括責任者 京都医療センター医療情報部長 北岡 有喜）では、11月2日（火）～11月30日（火）までの期間、ホームページ上において、「かかりつけ医に関するアンケート」を実施いたしました。

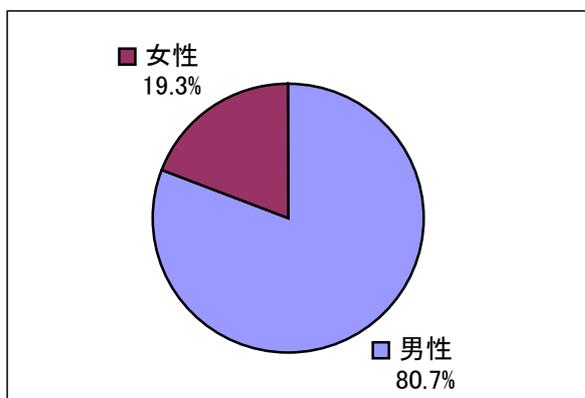
大変たくさんの方々にご協力頂き誠にありがとうございました。今後も随時HP上でアンケートを実施していく予定ですので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 回答人数 555人（男性448人 女性107人）
- 実施期間 2004年11月2日（火）～2004年11月30日（火）（当初20日迄のところ延長して実施）
- 実施方法 SCGJどこカル. ネットプロジェクトHPアンケート回答ページ
- 実施目的 「どこカル. ネット」プロジェクトでは、地域住民の方々の立場から「生活者起点の医療」、「必要な医療サービス」は何かを考え、自分達が望む医療・福祉環境を実現するための仕組み作りをすすめております。「どこカル. ネット」プロジェクトに地域住民の方々が深く関わっていただくコミュニティー作りの一環として、かかりつけ医に関するさまざまな情報をHP上で提供してゆくと共に、皆様のお役にたてる医療情報共有サイト構築の為、今回「かかりつけ医に関するアンケート」を実施いたしました。

質問1 性別をお答え下さい

男性（80.7%） 女性（19.3%）

男性	80.7%
女性	19.3%

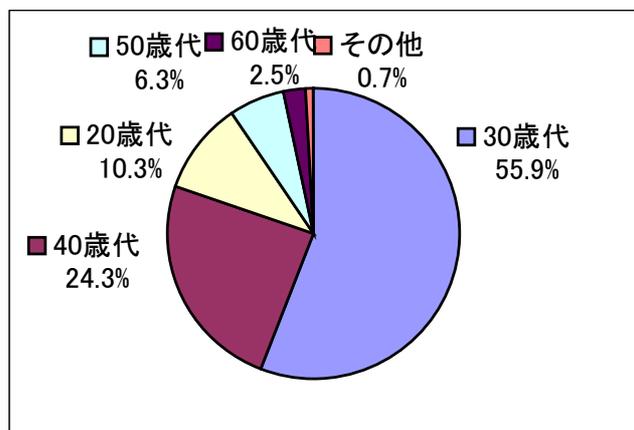


男性の回答率が圧倒的に多かったので、次回から女性の意見も強く求めたい。

質問2 年齢をお答え下さい

30歳代 (55.9%) 40歳代 (24.3%) 20歳代 (10.3%) 50歳代 (6.3%)

30歳代	55.9%
40歳代	24.3%
20歳代	10.3%
50歳代	6.3%
60歳代	2.5%
その他	0.7%

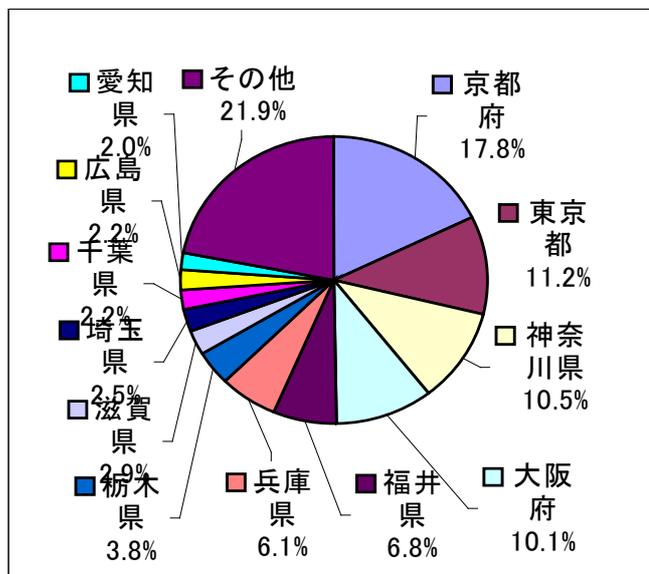


ネット上でのアンケートということもあり、20歳～40歳代のPCに精通している世代が主体となった様である。

質問3 現在、お住まいの地域についてお答え下さい。

京都府 (17.8%) 東京都 (11.2%) 神奈川県 (10.5%) 大阪府 (10.1%) 福井県 (6.8%) 兵庫県 (6.1%) 栃木県 (3.8%) . . .

京都府	17.8%
東京都	11.2%
神奈川県	10.5%
大阪府	10.1%
福井県	6.8%
兵庫県	6.1%
栃木県	3.8%
滋賀県	2.9%
埼玉県	2.5%
千葉県	2.2%
埼玉県	2.2%
広島県	2.2%
愛知県	2.0%
その他	21.9%

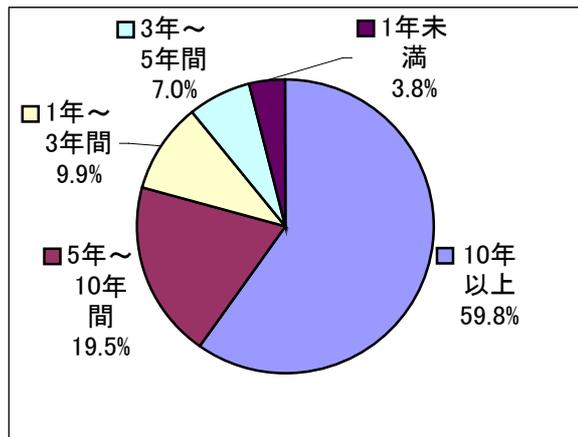


本プロジェクト拠点地である京都が一番多かったが、PC精通人口に比例して都市部に回答数が多く見られた。

質問4 現在、お住まいの地域に何年間、継続してお住まいですか？（市町村内の住居変更は含みません）

10年以上（59.8%） 5年から10年間（19.5%） 1年から3年間（9.9%） 3年から5年間（7.0%）・・・

10年以上	59.8%
5年～10年間	19.5%
1年～3年間	9.9%
3年～5年間	7.0%
1年未満	3.8%

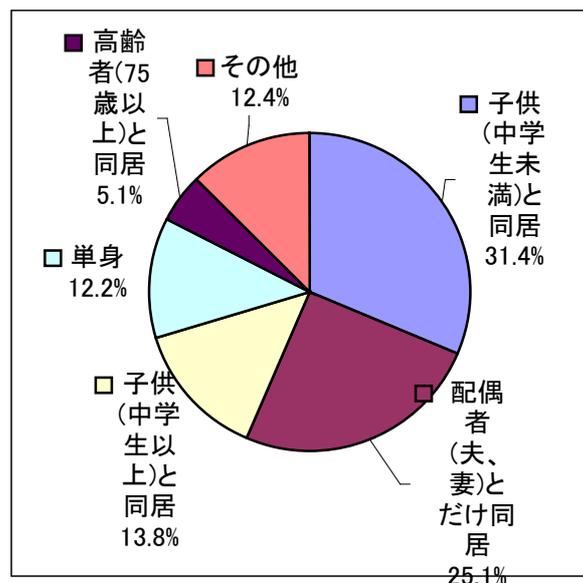


約6割が10年以上継続して現住所に住んでいるという回答であった。

質問5 家族構成についてお答えください（複数選択可）

子供（中学生未満）と同居（31.4%） 配偶者（夫、妻）とだけ同居（25.1%） 子供（中学生以上）と同居（13.8%） 単身（12.2%） 高齢者（75歳以上）と同居（5.1%）・・・

子供(中学生未満)と同居	31.4%
配偶者(夫、妻)とだけ同居	25.1%
子供(中学生以上)と同居	13.8%
単身	12.2%
高齢者(75歳以上)と同居	5.1%
その他	12.4%

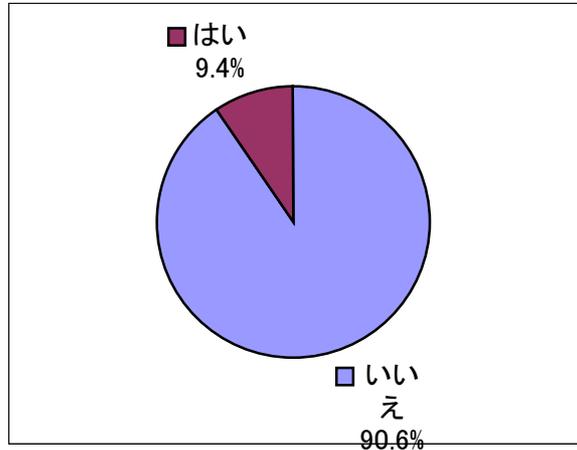


単身は12.2%と少なく、回答者の多くが同居人と暮らしており、中でも夫婦のみ+中学生未満の子供を持つ等の若い世代が半数以上であった。

質問6 あなたは診療所や病院などの医療機関でお勤めですか？

いいえ (90.6%) はい (9.4%)

いいえ 90.6%
はい 9.4%

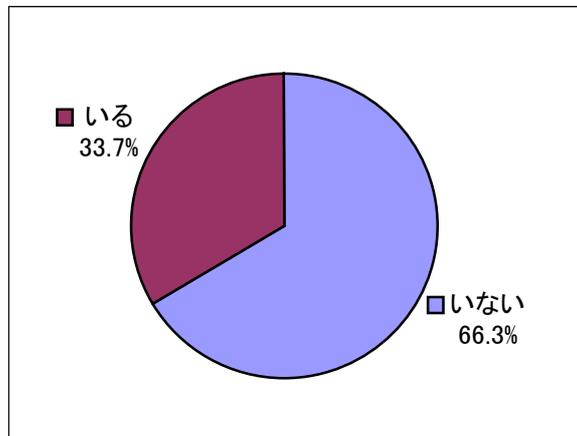


一般の人口比率と同様の回答集団であった。

質問7 現在、身近に何でも相談できる、かかりつけ医はおられますか？

いない (66.3%) いる (33.7%)

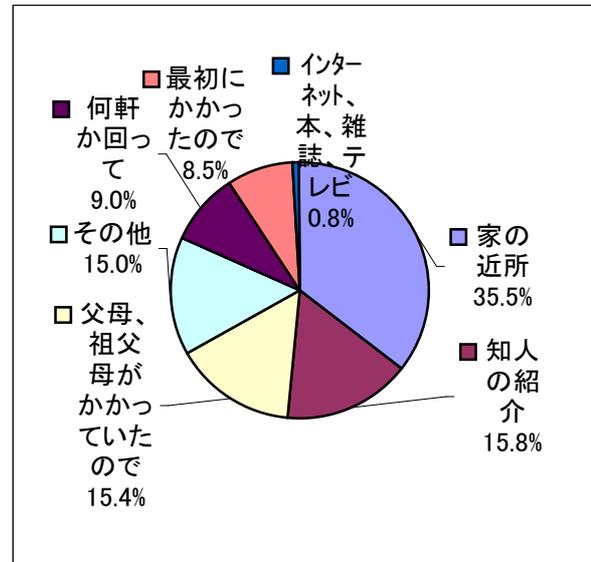
いない 66.3%
いる 33.7%



質問8 質問7で、Aいる と答えられた方に質問です。どのようにしてかかりつけ医を決めましたか？

家の近所 (35.5%) 知人の紹介 (15.8%) 父母、祖父母がかかっていたので (15.4%) . . .

家の近所	35.5%
知人の紹介	15.8%
父母、祖父母がかかっていたので	15.4%
その他	15.0%
何軒か回って	9.0%
最初にかかったので	8.5%
インターネット、本、雑誌、テレビ	0.8%

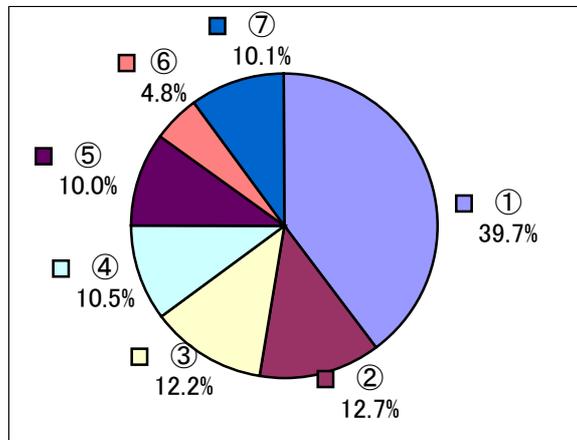


回答者の約6割が10年以上継続して同地域に住んでいる為か、家の近隣という回答が一番多く得られた。

質問9 質問7で、Aいる と答えられた方に質問です。その医師をかかりつけ医だと思われている理由は何ですか？ (300文字以内)

①様々な症状に対して気軽に何でも相談できる。(必要な時は専門医に紹介していただける。)信用している。信頼関係があるから。	39.7%
②何かあった場合、(風邪でも)最初に行くから。定期的に通っているから。	12.7%
③子供の頃から(昔から)通院しているので自分の既往歴を把握しているから。	12.2%
④自宅、職場の近くなので。	10.5%
⑤家族ぐるみで見ているから。	10.0%
⑥腕が良い。わかりやすい説明をしてくれる。適切な検査、処方をしてくれるから。	4.8%
⑦その他 (時間の融通がきくから。往診してくれるから。入院していたから等)	10.1%

- ① 39.7%
- ② 12.7%
- ③ 12.2%
- ④ 10.5%
- ⑤ 10.0%
- ⑥ 4.8%
- ⑦ 10.1%

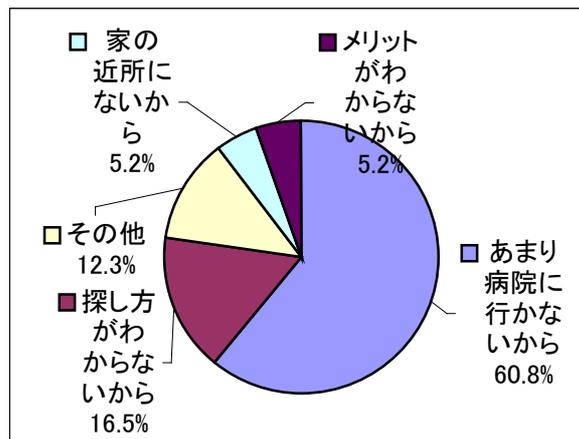


技術面以前に、医師の人柄や治療方針に共感されている。子供の頃から（昔から）通院するに
したがって、医師が自分の既往歴を把握している事から、些細な事でも何でも相談するよう
になったのではと考える。医師と自分自身の信頼関係が築きあげられた結果、かかりつけ医と思
うという意見が多く得られた。

質問 10 質問 7 で、B いない と答えられた方に質問です。それはなぜですか？

あまり病院に行かないから (60.8%) 探し方がわからないから (16.5%) その他 (12.3%) 家の
近所がないから (5.2%) . . .

- あまり病院に行かないから 60.8%
- 探し方がわからないから 16.5%
- その他 12.3%
- 家の近所がないから 5.2%
- メリットがわからないから 5.2%



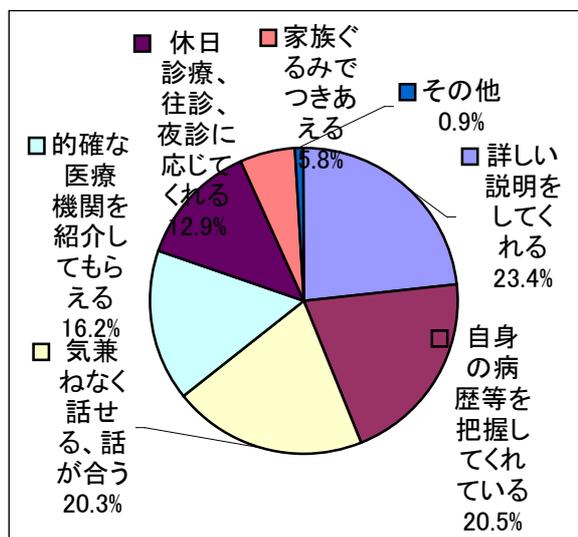
かかりつけ医がない(66.3%)とあまり病院に行かないから (60.8%)という回答が同等数である
事から現状、自分自身の健康に自信があるとの見方が出来る。ただ、生活習慣病の一つである
糖尿病を例に上げると、「糖尿病が強く疑われる人」690万人、「糖尿病の可能性を否定でき
ない人」680万人と全国に1,370万人いると推定されている中で、治療を受けている人は約212
万人(平成11年患者調査による総患者数)しかいない。(平成9年厚生省保健医療局糖尿病実

態調査による) また、高脂血症に関しても潜在患者数 2,200 万人 (平成 12 年厚生労働省循環器疾患基礎調査による) のうち、自覚している人はわずか 30% (平成 11 年国民栄養調査) しかおらず、知らず知らずのうちに病に冒されてしまう可能性も否定できず、これらの集団に対する健康管理の必要性が確認された。

質問 11 かかりつけ医に何を求めますか? (複数選択可)

詳しい説明をしてくれる (病状・検査結果・薬) (23.4%) 自身の病歴、検査結果、服用薬、生活習慣、健康管理を把握してくれている (20.5%) 気兼ねなく些細な事でも何でも話せる、話が合う (20.3%) 的確な医療機関を紹介してもらえる (16.2%) . . .

詳しい説明をしてくれる	23.4%
自身の病歴等を把握してくれている	20.5%
気兼ねなく話せる、話が合う	20.3%
的確な医療機関を紹介してもらえる	16.2%
休日診療、往診、夜診に応じてくれる	12.9%
家族ぐるみでつきあえる	5.8%
その他	0.9%



医師として当たり前と思われる、詳しい説明を求めるといった意見が多かった背景には、待ち時間の長さ、診察時間の短さが影響した意見と考える。

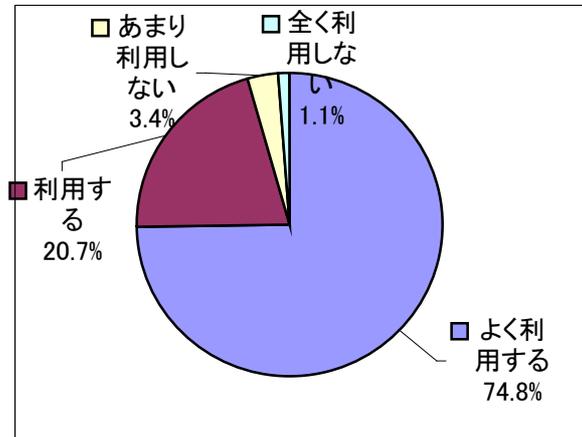
(厚生労働省大臣官房統計情報部平成 11 年受療行動調査の概要による

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jyuryo/00/kekka-5.html>)

質問 12 インターネットをよく利用されますか？

よく利用する (74.8%) 利用する (20.7%) あまり利用しない (3.4%) 全く利用しない (1.1%)

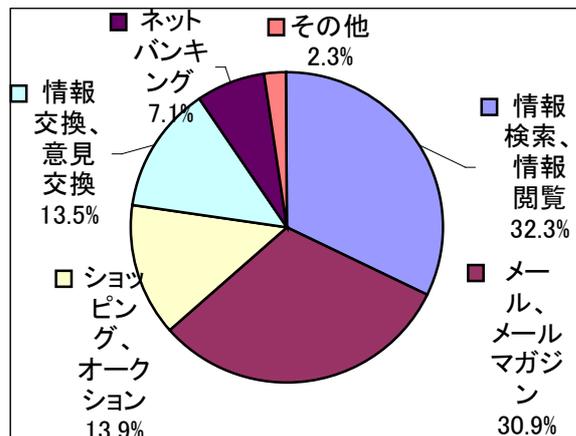
よく利用する	74.8%
利用する	20.7%
あまり利用しない	3.4%
全く利用しない	1.1%



質問 13 質問 12 で、Aよく利用する B 利用する と答えられた方に質問です。主に、どのような利用をされますか？（複数選択可）

情報検索、情報閲覧(ニュース、天気、医療機関検索等) (32.3%) メール、メールマガジン(30.9%)
 ショッピング、オークション (13.9%) 情報交換、意見交換 (コミュニティサイト、チャット、
 掲示板、メーリングリスト) (13.5%) . . .

情報検索、情報閲覧	32.3%
メール、メールマガジン	30.9%
ショッピング、オークション	13.9%
情報交換、意見交換	13.5%
ネットバンキング	7.1%
その他	2.3%

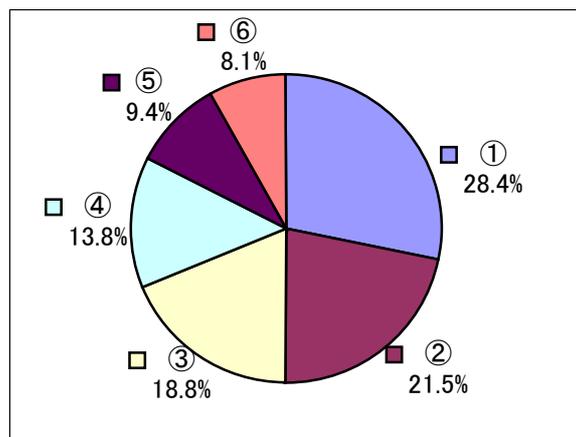


インターネットの利用者数は9割以上占めており、情報検索または、メールマガジン等でコミュニティーを深める為の利用が多かった。

質問 14 「どこカル. ネット」のような総合健康・医療・福祉情報サイトに何を求めますか？(300文字以内)

①地域・近所の医療機関の詳細な情報、良い医師の情報、簡単な症状を入れるだけで症状に応じた医療機関の紹介、予約。	28.4%
②Web上での簡易診断、メールでの質問対応。病気の前兆チェックシート。病気への対応方法（本当に病院へ行くべきか？緊急時の指導） 病気の予防、健康相談。	21.5%
③最新の医療・薬剤情報、口コミ情報、相談窓口、掲示板	18.8%
④利用者が活用しやすく信憑性のある的確な情報を公開してほしい。 セキュリティーの強化。万全の情報保護体制。	13.8%
⑤特になし わからない	9.4%
⑥その他（病院サービスの比較、医療に関するマメ知識、診療報酬の基準・用語集など）	8.1%

①	28.4%
②	21.5%
③	18.8%
④	13.8%
⑤	9.4%
⑥	8.1%



自分自身にとっての良い医療機関・良い医師に巡り会いたい、その為の詳細な情報がほしいという意見が多かった。また、ネット上でのアンケートという事もあり、医療機関に行かずとも（PC、携帯などを使って）自分の健康管理が出来れば便利だという声も多かった。その反面、個人情報が流出しないよう、万全なセキュリティーシステムを望まれている。また、「わからない」との意見の背景には本プロジェクトの概要・趣旨がよく理解できないということと、医療そのものがわかりにくいことからだと思われる。高齢者も含め、利用者側の立場になった、わかりやすく正確な情報を提供していくべきと考える。

質問 15 このアンケートはどこでお知りになりましたか？（100 文字以内）

①ML・メールマガジン	49.0%
②知人・友人からのメール	25.0%
③仕事関係	11.0%
④事業統括責任者・SCCJスタッフから	9.4%
⑤どこカル. ネットHP・みあこネットHP	0.6%
⑥その他（他のHP、ネットサーフィン）	5.0%

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

49.0%
25.0%
11.0%
9.4%
0.6%
5.0%

